

東亜建設工業
ソ ー キ

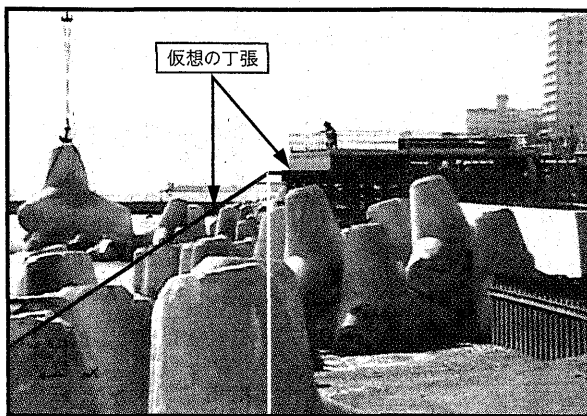
仮想丁張で施工支援

構造物築造の効率アップ

東亜建設工業は測量機・計測機器のソーキ（大阪市）と共同で、クレーン運転室のモニター上に仮想の丁張（ちよう）



オペレーター内部



モニター表示例

土作業などでの適用も視野に入れている。海上工事の消波ブロック積み作業などでは、旗竿を水中に設置して平面位置を把握し、高さ管理は陸上からオートレベルを使う。ただ、海象によっては旗竿が流失したり、オペレータの目線から据

付高さの確認が難しいという課題があった。新システムは、CCDカメラ付トータルステーションをベースとしている。そこにカメラ設置位置座標やカメラの

方向角、対象構造物の3次元座標などの情報を与え、クレーンブーム先端のGPS（全地球測位システム）位置座標を組み合わせることで、ブロックなどの据付位置や設計高さをリアルタイムに把握できる。

消波ブロック据付工での試験導入で一定の導入効果を確認しているが、今後は陸上工事なども含めて幅広い工種での適用に向け、さらに技術開発を進めていく方針だ。

【建設ICT】

- | | | | |
|---------|--------|--------|-------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 | 4. 日経 |
| 4. 読売 | 5. 朝日 | 6. 毎日 | 5. 日経 |
| 7. 産経 | 8. 朝日 | 9. 毎日 | 6. 日経 |
| 10. 中部経 | 11. 朝日 | 12. 毎日 | 7. 日経 |
| ⑬建設通 | 14. 朝日 | 15. 毎日 | 8. 日経 |
| 16. 建設工 | | | |

平成26年 3月26日（朝）・タ）P 3

建設通信新聞